

水害特集



発行所 秋田県五城目町城目場 編集 総務課 (一部五円)
印刷所 小浜市五城目 電話 501 番
505 番
6058 番

8月13日の集中豪雨

二億七千万円のツメ跡残す

復旧に総力をあげる

お盆入りの十三日朝に襲った集中豪雨は、本町全域に大きな被害をもたらしました。特に馬場目地内がひどく、午前十時から同十二時までの馬場目川の水位は二・四四メートルとなり流域の田畑は冠水被害をはじめ、土砂流入や流失をほじめて、般復舊となりました。また、水害、頭首などの被害、それに山くずれによる山林の被害など、被害関係だけで約二億七千万円にのぼります。

また、尾道や道路の決壊は県と町の関係をあわせて四十三か所、流された橋は十か所です。官道は約五千四百四十となり、特に、馬場目内四台の県道新築橋は、町が水害被害の沢山の流失と災地との交通に絶たれたので県と話し合ひのうえ、町費をもって復橋をつくるなど、町をあげての復旧作業によって、二十四日より開通しました。

そのほか、住家や宅地、水道、教育などの被害も多く総額二億七千万円に達する大きな被害となりました。

町では十三日から総力をあげて復旧対策にのり出し、町民に対する要請をはじめ、町独自の復旧を協議会とて検討し、最善の方法をもって救済や復旧につとめるための努力をこつておられます。

被害の内訳

〔農林の部〕

農作物などの被害は田の冠水が二七・一％、浸水は二六・八・九％、畑の冠水は二・五％、浸水一・五％、田畑の流失は七・六％、埋没は五・三・八％、土砂流入は二・八・六％、決壊は〇・七％で、被害額は七千四百五十五万円で、農地と農業用施設(長道、水路、橋、溜池、揚水機など)の被害は七千九十五万三千円、山くずれによる山林の被害は面積四万・七五％で四十九億四千円、林道は七三〇％で四百三十一万円、大谷又沢の集材機一式の被害は百万円、その他杉丸太、広葉樹、古材、薪の流失埋没など農林関係の被害総額は二億二千四百四十四万四千円にのぼりました。

〔土木の部〕

農林関係 被害の決壊がおもなもので、二十四か所、被害額は三千三百七十万円、被害の決壊一か所五十五万円、電馬飯橋、飯沢橋の流失、沢内橋の橋台被害の三か所四百五十万円、この計が三千八百七十万円です。

〔町民の部〕

被害の決壊が二か所、百四十万円、町道の決壊が十六か所、五百二十三万円

〔住宅・宅地の部〕

寺庭橋、水沢池の沢橋、水沢ニセ峠橋、西野・矢場崎川向橋の流失、その他橋脚流失など七か所八百八十五万町関係の計が千五百八十八万となり、土木関係の被害総額は五千三百八十八万円にのぼりました。

〔水道の部〕

上水道水源地の旧取水井付近は河川の変化で湧水防止設備が必要となつたほか、水源地の護岸約二百メートル、配水地の道路面流失による被害、また、簡易水道では高干、杉沢の取水井埋没など、水道関係被害額は千三十一万三千円となっています。

〔教育の部〕

大川中学校の体操場、技術室の浸水、実習田の冠水、里場日中学校運動場西側決壊、内川小学校児童遊園地の土手くずれなどで三十七万円の被害となつております。



危険となった五城目橋を守る消防署員



流失した県道新築橋の板橋は町長陣島指揮で18日完成した



山くずれで危険にさらされた民家(寺庭)



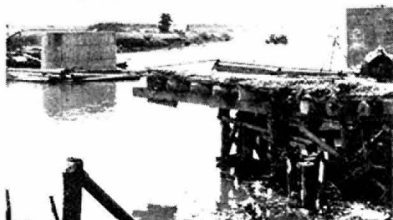
松橋副知事は県主幹部調査団に災害報告する町長



奔流する濁水、民家を浸す



流失した寺庭橋(長さ57メートル)



電馬橋遂に流失(国道)



濁水に洗われる中川原



水沢流ノ沢町道の地割れ



山くずりで交通をたれた保呂瀬町道



開通のよるこびもつかのま、流された西野・矢場崎橋



流の沢橋の流失で奥地と交通絶える



堤防を越えて濁流と化した向川原



松橋副知事をかこみ、復旧対策を練る町長



ニゼ林道の決壊



泥海と化した美田(下樋口)



町職員の浸水家屋消毒



濁流にのめされ、収穫皆無に近い水田(感地、坊井地右岸)



泥に埋った無惨な野菜畑(石崎)



土砂に埋り収穫皆無となった水田(水沢)



流木や土砂に埋った水田(水沢)